

みやま

Vol.398

目次・トピックス

入間川七夕まつりに25万人が来場・・・2
 暮らしの情報・・・3～7
 合併に関する市民フォーラムを開催
 青少年健全育成大会・少年の主張
 安全な水をお届けしています
 市民の情報・・・7～8
 相談案内・・・9

お知らせ版 2004. 8.25

狭山シニア・コミュニティ・カレッジ

後期開講学科の受講生を募集

第5期生を迎え、4月から8学科13コースがスタートした狭山シニア・コミュニティ・カレッジ。知識や技術を習得することはもちろん、市民による・市民のための明るい地域づくりに積極的に関わり、学習の成果を生かした取り組みをすることで、自分自身の生きがいを見出すことを目的に今年も300人以上の受講生が学んでいます。後期から新たに「高齢者ピアカウンセリング学科」が始まります。そこで、この学科の受講生を募集します。



ピアは「仲間」を意味します
 同世代の同じ社会環境を共有し、
 理解し合える立場の同僚のことです

高齢者ピアカウンセリング学科
 東京家政大学との共催で行います。
 定員 20名 受講料 1万5千円
 講義回数 20回
 会場 東京家政大学狭山校舎(車の
 通学は不可)サピオ稲荷山
 受講の決定通知 9月10日(金) 発送
 受講の手続き 9月13・14日(月・火)
 開講式・オリエンテーション
 10月5日(火) 9時15分～10時45分

学習する内容

高齢者を理解し援助するためには、年齢を重ねることに伴う身体と心の理解が不可欠です。また、高齢者と接することとは、単に世間話やアドバイスなどをするだけではなく、相手の気持ちを受け止め、心を傾けて聴くことが大切です。それが自然とできるようになることを目標に、講義と実習を行います。

講義 高齢者の心理や身体の問題、精神医学の基礎知識などをそれぞれの専門家が講義します。

実習 5～6名のグループに分かれ、相談者と聴き手や観察者の役割を交代して演技実習するロールプレーを通じて、傾聴の技法を体験的に学びます。産業カウンセラーが指導にあたります。

対象となる方

市内在住・在勤のおおむね55歳以上の通学可能な方で、高齢者の心の支援

なぜ...ピアカウンセリング?

急速に進む高齢社会の中で、多くの高齢者は変化する社会環境やそれに影響を受けた家族との間にあり、「寂しさ」に代表される心の問題を抱えています。高齢者が抱える孤独、寂しさ、不安などを受け止め、共感することによって心の問題を軽減し、精神的自立を支援することが求められています。これらの役割を果たし、高齢者を支援する人材を養成するために、この講座を開講します。また、支援する立場となる人が高齢者とのふれあいを通じて喜びを実感し、自身の生きがいを見出すことも、この学科で学ぶ意義の一つです。

申し込みは往復はがきで!

募集案内書を生涯学習課、高齢者福祉課、公民館で配布します。案内書に記載されている必要事項を往復はがきに記入し、9月8日 必着で生涯学習課 〒350-1380 入間川1-23-5)へ郵送してください。

問合せ生涯学習課へ内線5673